

平成28年3月 東京地区百貨店売上高概況

平成28年4月19日

I. 概況

1. 売上高総額	1,417億円余
2. 前年同月比	-1.1% (12か月ぶりマイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-2.4%(88.4%) : 非店頭10.7%(11.6%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成28年2月対比±0店)
5. 総店舗面積	882,667㎡ (前年同月比:3.2%)
6. 総従業員数	18,566人 (前年同月比:-1.3%)
7. 3か月移動平均値	8-10月 6.1%、9-11月 3.9%、10-12月 3.0%、 11-1月 1.0%、12-2月 1.7%、1-3月 0.5%

[参考] 平成27年3月の売上高増減率は-16.5%

【特徴】

- (1) 3月は月平均気温が高く降水量も少なかったものの、寒暖の差が激しく中盤からの冷え込みも影響し、入店客数は0.9%のマイナス。総額でも1.1%減と1年ぶりに前年を下回る結果となった。
- (2) 商品別では、雑貨が12か月連続、食料品も7か月連続の前年確保。家庭用品も2か月ぶりにプラスに転じるなど健闘したが、春物商材の不振が影響した衣料品と身のまわり品のマイナスをカバーするには至らなかった。
- (3) 細分類では、インバウンドに加え国内需要も好調な化粧品が22.6%増の12か月連続プラス。特選食器や調理日用品が好調だったその他家庭用品、ホワイトデー商戦が盛り上がりを見せた菓子のほか、惣菜、その他食料品なども前年をクリア。
- (4) 個別商材では、パンツやスカートとの組み合わせでブラウスやカットソーに動きが見られる一方、装身具で着こなしを工夫する傾向から婦人アクセサリーに人気が集まった。また、ゴルフウェアやスポーツシューズ、アウトドア商品など健康商材が引き続き好調。
- (5) 4月は前半から寒い日が続く、春物商材及び初夏物の動きが鈍いことなどから、14日現在約2%減で推移。土曜日の1日増や、大型連休を含むGWなどカレンダー上の利点を活かした各社の人気催事や好調商材の展開に期待がかかる。

【要因】

- (1) 営業日数増減 30.9日 (前年同月比-0.1日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数18店舗)
 - ①増加した: 3店、②変化なし: 6店、③減少した: 9店
- (3) 3月歳時記 (ひな祭り、ホワイトデー、卒業・入学、新生活) の売上 (同上/有効回答数11店舗)
 - ①増加した: 0店、②変化なし: 5店、③減少した: 6店

東京地区百貨店 売上高速報 2016年03月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	141,778,628	100.0	-1.1
紳士服・洋品	11,178,407	7.9	-3.6
婦人服・洋品	25,970,927	18.3	-9.9
子供服・洋品	5,812,775	4.1	-1.1
その他衣料品	2,510,113	1.8	-0.2
衣 料 品	45,472,222	32.1	-6.8
身のまわり品	19,784,066	14.0	-4.0
化粧品	12,426,679	8.8	22.6
美術・宝飾・貴金属	8,963,159	6.3	-3.3
その他雑貨	6,374,197	4.5	-4.9
雑 貨	27,764,035	19.6	6.4
家 具	2,492,980	1.8	5.2
家 電	935,546	0.7	8.2
その他家庭用品	5,246,501	3.7	14.9
家 庭 用 品	8,675,027	6.1	11.2
生 鮮 食 品	4,399,922	3.1	-3.2
菓 子	10,928,360	7.7	0.6
惣 菜	6,606,322	4.7	0.8
その他食料品	8,788,700	6.2	3.4
食 料 品	30,723,304	21.7	0.9
食 堂 喫 茶	3,201,744	2.3	-2.0
サ ー ビ ス	2,617,862	1.8	-6.5
そ の 他	3,540,368	2.5	2.6

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率(%)
商 品 券	2,934,247 千円	-3.1
従 業 員 数	18,566 人	-1.3
店 舗 面 積	882,667 m ²	3.2

営 業 日 数	30.9 日	前年	31.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、雑貨が12か月連続、食料品が7か月連続、家庭用品が2か月ぶりのプラスとなった。また、衣料品が5か月連続、身のまわり品が2か月連続のマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が12か月連続、菓子、その他食料品が7か月連続、家具、その他家庭用品が4か月連続、惣菜が2か月連続、家電が2か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-1.1	-	12か月ぶりマイナス
紳士服・洋品	-3.6	-0.3	2か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	-9.9	-2.0	5か月連続マイナス
子供服・洋品	-1.1	0.0	9か月ぶりマイナス
その他衣料品	-0.2	0.0	2か月ぶりマイナス
衣料品	-6.8	-2.3	5か月連続マイナス
身のまわり品	-4.0	-0.6	2か月連続マイナス
化粧品	22.6	1.6	12か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-3.3	-0.2	2か月ぶりマイナス*
その他雑貨	-4.9	-0.2	8か月連続マイナス*
雑貨	6.4	1.2	12か月連続プラス
家具	5.2	0.1	4か月連続プラス
家電	8.2	0.0	2か月ぶりプラス
その他家庭用品	14.9	0.5	4か月連続プラス
家庭用品	11.2	0.6	2か月ぶりプラス
生鮮食品	-3.2	-0.1	2か月ぶりマイナス*
菓子	0.6	0.0	7か月連続プラス*
惣菜	0.8	0.0	2か月連続プラス*
その他食料品	3.4	0.2	7か月連続プラス*
食料品	0.9	0.2	7か月連続プラス
食堂喫茶	-2.0	0.0	3か月連続マイナス
サービス	-6.5	-0.1	9か月連続マイナス
その他	2.6	0.1	8か月連続プラス
商品券	-3.1	-0.1	13か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・関 まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>